5 1.8ℓびんについての「常識」の変化

「1.8ℓびんは酒屋に返す」という考えが通用しなくなっている

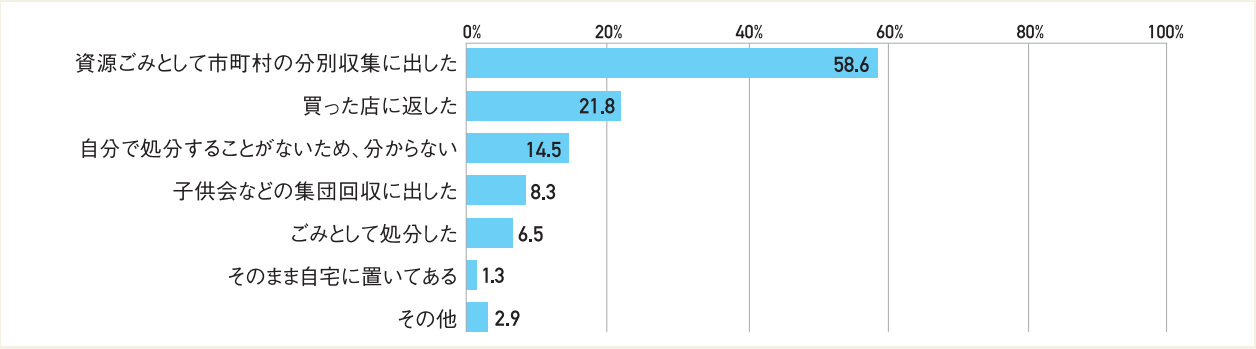
1.8ℓびんは酒屋に返し、酒屋からびん商が買い取り、洗びんして酒蔵に販売する。かつてはこれが常識でした。現在もほとんどの自治体で「1.8ℓびんは酒屋に返してください」とPRしています。しかし、酒屋そのものが減ってしまったために、酒屋を経由して回収するルートは衰退しています。その理由としては、以下のようなことが指摘できます。

① 2001年（平成13年）度では酒類の販売は一般酒屋が70%を占めていたが、2011年（平成23年）度では28%になっている。

② 1.8ℓびんを引き取らないコンビニやスーパーでの販売が増えた。（これまでの調査では紙パック等の店頭回収を積極的に行っている大手スーパーでも、1.8ℓびんを回収しているところは少ない。）

③ 消費者アンケートでは、1.8ℓびんを酒屋に返している人は20%にすぎなかった。

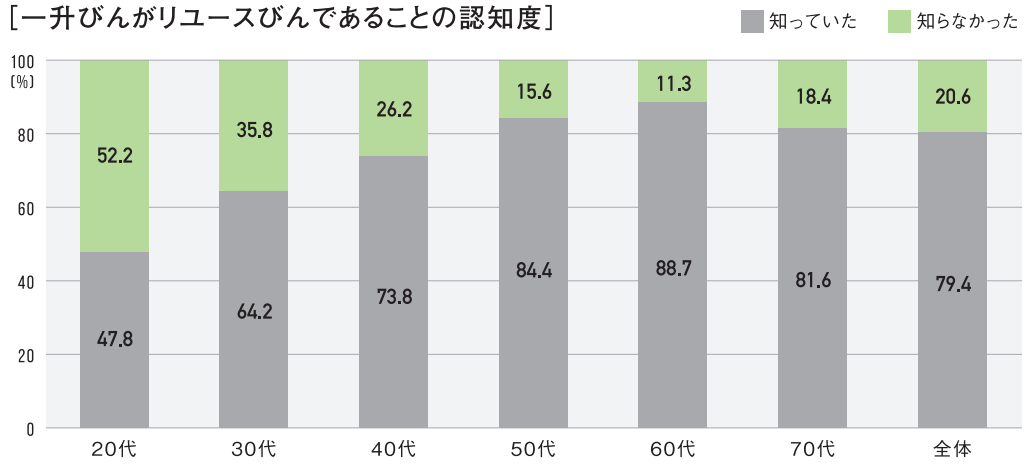
④ 消費者アンケートでは、1.8ℓびんは「自治体の資源分別収集」に出したという回答が59%。



出典：日本酒造組合中央会「平成26年度1.8ℓびんの再使用率向上策の調査研究概要」

若い世代では1.8ℓびんがリユースびんであることを知らない人が多い!

もはや若い世代では、1.8ℓびんがリユースびんであるということすら知らない消費者が増えています。1年以内に1.8ℓびん入りの日本酒や本格焼酎を買ったことがある人を対象に、消費者アンケートを実施しましたが、1.8ℓびんがリユースびんであることを知らない人が全体では21%もあり、特に20歳代では知らない人が半数以上、30歳代でも36%もありました。



出典：日本酒造組合中央会「平成26年度1.8ℓびんの再使用率向上策の調査研究概要」